

概要

近年、農林水産業では、生産者の高齢化、担い手不足、農産物価格の低迷など、厳しい状況が続く一方、新たな市場として海外への輸出が増加するなど、経営を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

経営研究課では、こうした農業経営の多様化に対応するため、地域農業の実情に応じた経営モデル策定、新しい技術及び生産システムの分析評価、更なる需要拡大を目指した鮮度保持技術や輸送技術の開発等に取り組んでいます。

総務担当

- センター(石井)の企画・調整
- センター(石井)の運営・維持管理業務全般

経営流通担当

- 農林水産業の経営に関する調査・研究
- 地域資源の活用に関する調査・研究
- 農産物の流通に関する調査・研究

管理担当

- センター(石井)ほ場および施設等の維持管理
- 試験研究補助

主な研究課題

<農業経営>

- ・収益性向上のための指標モデルの作成
- ・酪農後継牛の生産体系別経済性の評価、分析

<地域資源活用>

- ・ミシマサイコなど中山間地域の有望作物の収益性分析
- ・有望作物の組み合わせによる複合経営モデルの作成

<農産物流通>

- ・県産青果物の鮮度保持技術および輸送技術の確立
- ・海外流通拠点を活用した輸出実証試験



指標モデルの作成



有望作物の収益性分析



青果物の品質保持技術開発



後継牛生産の経済性評価・分析



薬草による複合経営モデル作成



県産品の海上輸出実証試験